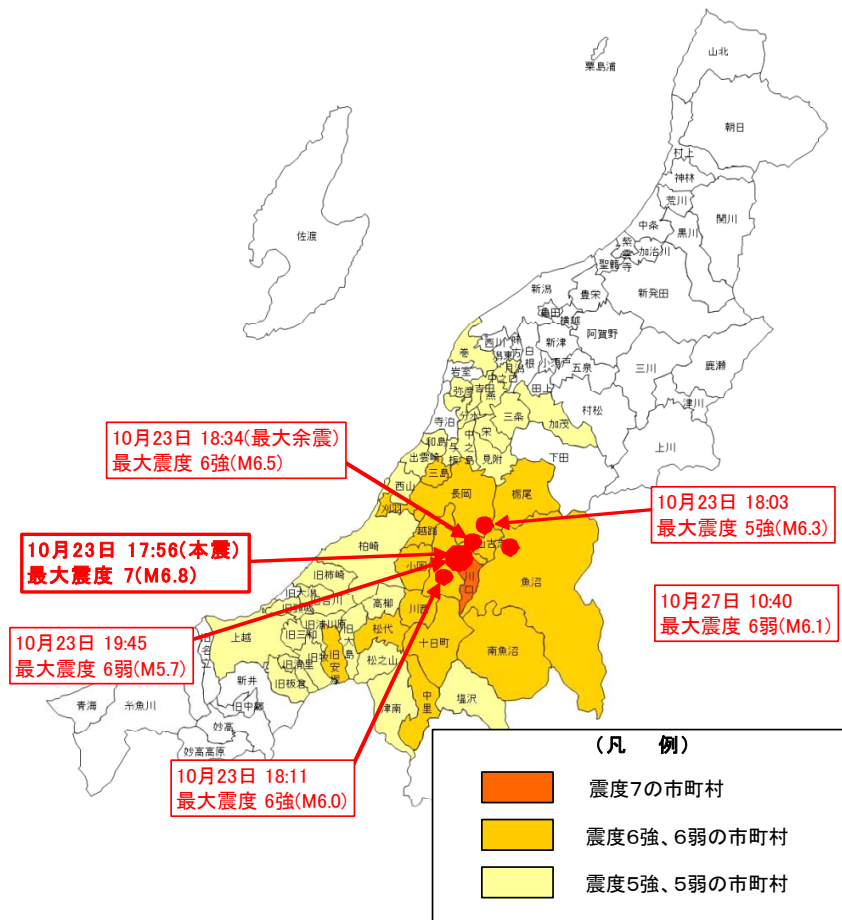


第1節 地震の発生

平成16年(2004年)10月23日土曜日、天候は曇り。17時56分頃、突然の激震が発生した。気象庁の発表によると、震源は北緯37度17分、東経138度52分(北魚沼郡川口町北部)の地下約13km、地震の規模を示すマグニチュード(以下、「M」と表記する。)は6.8であった。

川口町で震度7※¹、小千谷市、山古志村、小国町で震度6強、十日町市、堀之内町、中里村、守門村、川西町、越路町、刈羽村、長岡市、栃尾市、三島町、広神村、入広瀬村(市町村名は、地震発生時(10月23日)の市町村名である。)で震度6弱を記録したほか、県内の広い地域が震度5強から4の強い揺れに見舞われた(図1-1-1参照)。

図1-1-1 震央分布図



最大震度5弱以上の地震
〔気象庁報道発表資料(暫定値)による〕

新潟県内で発生した地震としては、昭和39年(1964年)の新潟地震以来の大きな規模である。

また、県外でも長野、群馬、埼玉、福島 of 各県で震度5弱を記録したほか、東北地方から関東、北陸の広い範囲で震度4が観測されるなど、近畿地方にかけての広い地域で有感地震が観測された。翌日(25日)、気象庁はこの地震を「平成16年(2004年)新潟県中越地震」(以後、「中越地震」または「地震」と表記する。)と命名した。

※¹ 県が川口役場に設置した計測震度計は、我が国の観測史上初めて震度7を記録したが、停電で役場の送信装置が停止し、データを県庁に送信できなかったため、しばらくの間「震度6強」が最大とされていた。地震から1週間後、電源が復旧して震度計をチェックした際に初めて「震度7」が確認された。

